

## 5日 日曜

### 箴言

12:1 訓戒を愛する人は知識を愛する。叱責を憎む者は間抜け者。  
12:2 善人は【主】から恵みをいただき、悪を企む者は不義に定められる。  
12:3 人は悪で身を堅く立てることはできない。正しい人の根は揺るがない。  
12:4 しっかりした妻は夫の冠。恥をもたらす妻は、夫の骨の中の腐れのようなだ。  
12:5 正しい人の考えは公正。悪しき者の助言は欺瞞。  
12:6 悪しき者のことばは血に飢え、心の直ぐな人の口は自分を救い出す。  
12:7 悪しき者は打ち倒されて、いなくなる。しかし、正しい人の家は立ち続ける。  
12:8 人はその賢明さによってほめられるが、心のねじけた者は蔑まれる。  
12:9 身分が低くても、しもべを持つ者は、高ぶっていて食に事欠く者にまさる。  
12:10 正しい人は、自分の家畜のいのちを知っている。悪しき者は、そのあわれみさえ残忍である。  
12:11 自分の畑を耕す者は食に満足するが、空しいものを追い求める者は良識がない。  
12:12 悪しき者は悪人たちの分捕り物を欲しがるが、正しい人の根は芽を出す。  
12:13 悪人は唇で背いて畏にかかると。正しい人は苦しみから逃れ出る。  
12:14 人は、口のことばによって良いものに満ち足りる。人の手の働きはその人に報いをもたらす。  
12:15 愚か者には自分の歩みがまっすぐに見える。しかし、知恵のある者は忠告を聞き入れる。



12:16 愚か者は自分の怒りをすぐ表す。賢い人は辱めを気に留めない。

人は「訓戒」されたりすると、自分の価値を下げるような感じがして、聞きたくないし否定したくなります。しかしそれを「愛する」必要があります。それは自分が成長し、正しく歩む恵となるからです。

妻は夫の「冠」のような誉れになってこそ幸せになれます。また夫も同じでしょう。妻を幸せにしてこそ夫も幸せになれます。

「自分の道を正しいと思う」のは知恵のある人と考えられるでしょうが、実際は違います。自分が正しいと考える人は、柔軟な考えができません。また人の助言を受け入れることができません。そのような人を「愚か者」と言っています。常に謙遜でありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

